

令和7年度事務事業評価シート

令和7年8月22日

事業番号	157	担当課等	温泉課							
事務事業名	源泉設備事業									
予算科目コード	会計		款		項		目		事業開始年度	平成11年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	2 温泉	(1) 温泉設備の適正 管理	町営温泉集中管理の 推進・効率的な企業 経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
						○	○		○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	老朽化した源泉施設の維持管理を計画的に行い、安定供給に努めるもの								
対象	町温泉事業								
内容	源泉施設の改修								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費		6,987,200		5,172,200		8,470,000	
	人件費	常勤職員	147,600		150,575		158,180	
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	147,600		150,575		158,180	
	総事業費		7,134,800		5,322,775		8,628,180	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		7,134,800		5,322,775		8,628,180	
	財源合計		7,134,800		5,322,775		8,628,180	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
更新等工事個所数			予算計上した工事が執行できているか		工事数	4	3	3
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
更新等工事個所数			予算計上した工事が執行できているか		工事数	4	3	3
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	現行の町営の施設から温泉を安定供給するためには、町主体による維持管理・更新が不可欠である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	事故を未然に防ぐ老朽化対策に加え、揚湯機能を維持向上する効果が得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえた中で、計画的・定期的に改修を行い、事故等を未然に防ぐことができている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	温泉を安定して供給することにより、町営施設から配湯を受ける温泉使用者に対する受益の均等な機会が確保されている。
令和6年度までの自己評価または改善点		揚湯機能を維持するためのエアー管・揚湯管の布設替えや老朽化した槽の改修などを定期的・計画的に行うことができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	委託・指定管理の導入は可能と考えるが、温泉分野の専門性を要するため、業務範囲や候補者の選定、費用等について研究・検討する必要があり、導入には至っていない。
令和7年度の見直し及び改善予定	老朽化した源泉設備について、定期的・計画的に順次改修するとともに、目視ができない条件下での源泉井戸作業など、経験や専門性を要する作業における業者の確保や業務のあり方について研究していく。	
令和8年度以降の方向性	令和7年3月に策定した経営戦略の見直しを通じて温泉事業の現状を把握しながら、引き続き源泉設備の改修等を定期的・計画的に進めるとともに、将来にわたって安定的に事業を継続していくための業務のあり方や効率化、資源保護などに対する方策について研究を進める。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	源泉設備について、公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえ、定期的・計画的に順次改修し、温泉の安定供給の持続に努めること。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年8月22日

事業番号	158	担当課等	温泉課					
事務事業名	流入設備事業							
予算科目コード	会計		款		項	目	事業開始年度	平成11年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	2 温泉	(1) 温泉設備の適正 管理	町営温泉集中管理の 推進・効率的な企業 経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
						○	○		○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	老朽化した流入施設の改修を行い、漏湯事故を未然に防ぐとともに安定供給に努めるもの								
対 象	町温泉事業								
内 容	流入施設の改修								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	147,600	150,575	158,180		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	147,600	150,575	158,180		
	総事業費	147,600	150,575	1,808,180		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	147,600	150,575	1,808,180		
	財源合計	147,600	150,575	1,808,180		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
更新等工事個所数		予算計上した工事が執行できているか	工事数	0	0	1
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
更新等工事個所数		予算計上した工事が執行できているか	工事数	0	0	1
				0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	現行の町営の施設から温泉を安定供給するためには、町主体による維持管理・更新が不可欠である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	事故を未然に防ぐ老朽化対策に加え、温泉供給の効率化や省エネ(電気使用量の削減)の効果が得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえた中で、計画的・定期的に改修を行い、事故等を未然に防ぐことができています。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	温泉を安定して供給することにより、町営施設から配湯を受ける温泉利用者に対する受益の均等な機会が確保されている。
令和6年度までの自己評価または改善点		令和6年度の改修などはなかったが、今後も定期的・計画的に行っていく。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	1 委託・指定管理の導入は可能と考えるが、温泉分野の専門性を要するため、業務範囲や候補者の選定、費用等について研究・検討する必要があり、導入には至っていない。
令和7年度の見直し及び改善予定	老朽化した流入設備について、定期的・計画的に順次改修するとともに、各地区ごとに安定した温泉流入を維持するための設備・施設について研究していく。
令和8年度以降の方向性	令和7年3月に改定した経営戦略の見直しを通じて温泉事業の現状を把握し、引き続き流入設備の改修等を定期的・計画的に進めるとともに、将来にわたって安定的に事業を継続していくための効率化や省エネ対策、大規模災害による備えなどに対する方策について研究を進める。

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	流入設備について、公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえ、定期的・計画的に順次改修し、温泉の安定供給の持続に努めること。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年8月22日

事業番号	159	担当課等	温泉課							
事務事業名	送湯及び給湯設備事業									
予算科目コード	会計		款		項		目		事業開始年度	平成11年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	2 温泉	(1) 温泉設備の適正 管理	町営温泉集中管理の 推進・効率的な企業 経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
						○	○		○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	老朽化した送配湯施設を計画的に改修するもの								
対 象	町温泉事業								
内 容	送配湯施設の改修								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		12,876,270	26,865,500	25,320,000		
	人件費	常勤職員	442,800	451,725	474,540		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	442,800	451,725	474,540		
	総事業費		13,319,070	27,317,225	25,794,540		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		13,319,070	27,317,225	25,794,540		
	財源合計		13,319,070	27,317,225	25,794,540		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
更新等工事個所数			予算計上した工事が執行できているか	工事数	4	2	4
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
更新等工事個所数			予算計上した工事が執行できているか	工事数	4	2	4
					0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	現行の町営の施設から温泉を安定供給するためには、町主体による維持管理・更新が不可欠である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	事故を未然に防ぐ老朽化対策に加え、温泉供給の効率化や省エネ(電気使用量の削減)の効果が得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえた中で、計画的・定期的に改修を行い、事故等を未然に防ぐことができている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	温泉を安定して供給することにより、町営施設から配湯を受ける温泉利用者に対する受益の均等な機会が確保されている。
令和6年度までの自己評価または改善点		老朽化した町営温泉集中管理給湯システム遠方監視装置の改修などを定期的・計画的に行うことができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	委託・指定管理の導入は可能と考えるが、温泉分野の専門性を要するため、業務範囲や候補者の選定、費用等について研究・検討する必要があり、導入には至っていない。
令和7年度の見直し及び改善予定	老朽化した送配湯設備について、定期的・計画的に順次改修するとともに、各地区ごとに安定した配湯を維持するための設備・施設について研究していく。	
令和8年度以降の方向性	令和7年3月に改定した経営戦略の見直しを通じて温泉事業の現状を把握し、引き続き送配湯設備の改修等を定期的・計画的に進めるとともに、将来にわたって安定的に事業を継続していくための効率化や省エネ対策、大規模災害による備えなどに対する方策について研究を進める。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	送配湯設備について、公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえ、定期的・計画的に順次改修し、温泉の安定供給の持続に努めること。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年8月22日

事業番号	160	担当課等	温泉課					
事務事業名	固定資産購入事業							
予算科目コード	会計		款		項	目	事業開始年度	平成11年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	2 温泉	(1) 温泉設備の適正 管理	町営温泉集中管理の 推進・効率的な企業 経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
						○	○		○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	固定資産の購入								
対 象	町温泉事業								
内 容	機械及び装置等固定資産の購入								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)		令和7年度(見込)		
	事業費		3,890,944	2,308,460		5,531,000		
	人件費	常勤職員	295,200	301,150		316,360		
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	295,200	301,150		316,360		
	総事業費		4,186,144	2,609,610		5,847,360		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		4,186,144	2,609,610		5,847,360		
	財源合計		4,186,144	2,609,610		5,847,360		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
資産購入数			予算計上した固定資産が購入できているか		器、台	7	6	4
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
資産購入数			予算計上した固定資産が購入できているか		器、台	7	6	4
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	町営の町営の施設から温泉を安定供給するためには、町主体による維持管理・更新が不可欠である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	事故を未然に防ぐ老朽化対策に加え、温泉供給の効率化や省エネ(電気使用量の削減)の効果が得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえた中で、計画的・定期的に更新(購入)を行い、事故等を未然に防ぐことができている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	温泉を安定して供給することにより、町営施設から配湯を受ける温泉利用者に対する受益の均等な機会が確保されている。
令和6年度までの自己評価または改善点		メータ器や電池式流量計などを定期的・計画的に購入することができた。また、令和2年度に源泉(1件)を取得したほか、令和3年度にはコンビニ・スマホ決済を可能とする温泉料金計算システム機能追加購入し料金徴収の効率化を図ることができた(令和4年度からコンビニ等収納開始)。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	委託・指定管理の導入は可能と考えるが、温泉分野の専門性を要するため、業務範囲や候補者の選定、費用等について研究・検討する必要がある、導入には至っていない。
令和7年度の見直し及び改善予定	老朽化した固定資産について、耐用年数も考慮しながら定期的・計画的に順次更新していく。	
令和8年度以降の方向性	令和7年3月に改定した経営戦略の見直しを通じて温泉事業の現状を把握し、引き続き固定資産の更新を定期的・計画的に進めるとともに、将来にわたって安定的に事業を継続していくための効率化や省エネ対策などに対する方策について研究を進める。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	固定資産について、公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえ、定期的・計画的に順次更新し、温泉の安定供給の持続に努めること。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------